

令和4年4月20日(水)  
武豊町役場 第2・3・4会議室  
10時00分～12時00分

委員の出欠席は、別紙のとおり。

【開会】

### 議題1 プロジェクトチームでの検討状況について

【事務局】

昨年10月の会議の際に「プロジェクトチームで検討する」と回答した内容について、検討結果等について改めて回答します。

(以下、資料1の説明)

【委員】

保育業務支援システムとはどのようなものでしょうか。

【事務局】

業務日誌をデータ管理するなど、業務を補佐し、業務改善が期待できるシステムです。

【委員】

保育業務支援システムは非常にいいと思います。企業型保育の監査を実施した経験がありますが、民間の保育園ではタブレットを導入し、隙間の時間を効率的に活用している事例もあります。是非上手に使っていただきたい。

【委員】

昨年のグループワークでの3つの提案の中で、ゆめくりんを活用した内容についてです。先日ゆめくりんを訪問した際に、見学ツアーの企画について少し説明で触れていましたが、武豊町で何か計画している企画等がありますか。

【事務局】

環境課へ確認したところ、2市3町の学校で見学を計画しているとのこと。今後、様々なイベントを企画できればいいと思います。

【委員長】

ゆめくりんの運営者と連携しないとできない内容もあると思いますが、提案内容は伝わっているのでしょうか。

【事務局】

提案内容はプロジェクトチームで展開しており、環境課も知っている内容です。また武豊町の幹部にも提案内容を展開済みですので、業者との調整が今後必要になってくると思います。

【委員長】

提案された内容については、その後のフィードバックが欲しいです。

【委員】

温水プールで写真を撮り、自分のインスタグラムに投稿したところ、好意的な反応が多かったです。

私の友人が「たけとよ日和」のメンバーになっています。公募でメンバーを集めて、武豊町の魅力を発信するチームです。まだ発足したばかりですが、例えばこの方たちが、土日でも武豊町の魅力を発信していってくれると期待しています。

たけとよ日和について、メンバーが自由に投稿できるのか、役場職員のチェックが入るのか、どのような運用になっているのか教えてください。

【事務局】

担当課に確認して後程回答します。

(確認後)メンバーが作成した記事を秘書広報課へ提出し、写真の著作権や取材を受けた人へ確認の上、投稿するとのことです。取材は一人の場合やグループの場合など様々で、月1回以上は投稿するような運用で考えているとのことです。

【委員長】

町民がアンバサダーとなって気軽に発信できるようになると、コミュニティの中で繋がっていくことで大きな力になり得ると思います。他市町の事例だと、下呂市で女性を中心とした下呂スタグラム、安城市の本證寺周辺の市民活動などがあります。

町民から、他の町民へ伝えるということは非常に大事になってくると思います。

【委員】

昨日、たけとよ日和の取材をしたところです。たけとよ日和では、単に投稿するのではなく、研修をしたり、取材をして情報発信という形をとっているのが、画期的だと思います。

その際に、投稿の際は役場へ一旦集約して、発信するとのことでした。著作権の関係などもあるので。

他に、町内で面白い活動をしている人を紹介することも考えているそうで、印象的でした。頻繁に更新されていくと良いと思います。

## 議題2 総合戦略の改定及び別冊について

## 議題3 企業版ふるさと納税制度 令和4年度対象事業について

### 【事務局】

総合戦略の改定についてです。以前委員の皆さんに改定について書面で照会させていただきました。

国の総合戦略基本方針でカーボンニュートラルが重点内容として示されたことを受け、カーボンニュートラルについて追記した改定となります。

(以下、資料 2-2 の説明)

続きまして別冊についてです。総合戦略の事業のみを抜き出し、纏めたものになります。後程説明します、企業版ふるさと納税制度の対象事業を明確にする必要があるため、「企業版対象」という欄を設けています。

昨年度のグループワークで提案された3つの内容については、各々別冊に記載しています。

(以下、資料 2-3 の説明)

続きまして資料3です。昨年度は2事業のみ対象として掲載していましたが、今年度は対象事業を拡げて対応していきます。

### 【委員】

企業版ふるさと納税対象事業の選定基準を教えてください。

### 【事務局】

基本的に新規事業から選定しています。既存事業でも寄付により事業の拡充などが明確に示せると対象という考え方もあるのですが、今回は新規事業をベースに選定しています。

### 【委員】

別冊の中で、開始年度が令和4年度となっているのに対象となっていない事業がありますが、どのような整理ですか。あまりPRにならないなどの理由でしょうか。

### 【事務局】

令和4年度となっているものでも、既存事業の拡充となっている内容があり、一旦対象としていません。捉え方によって新規とできる場合もあるので、その際は柔軟に対応したいと思います。

### 【委員】

別冊の「具体的な事業・取組」と総合戦略冊子の「具体的な事業・取組」はリンクしていると思いますが、冊子に追加はしないのですか。

【事務局】

具体的な事業・取組は毎年変わっていきます。毎年計画冊子を改定する必要がないよう、具体的な事業・取組や事業例を管理するために別冊を作成しています。

【委員】

企業版ふるさと納税制度はどのように知ることができますか。

【事務局】

内閣府のポータルサイトや、企業版ふるさとチョイスに掲載しています。また町 HP にも掲載しています。

今年度、町広報紙でも周知を図ります。

【委員】

企業から寄付の申し出があった場合、対象事業を示す形になるのでしょうか。

【事務局】

企業次第ですが、理念に合うように事業を企業側が指定してくる場合もあれば、子育て分野などへ寄付したいなど、事業を幅広くとらえた形での申し出など、様々だと思われるので、企業との相談により柔軟な対応ができるようにしています。

【委員】

事業費を超えた寄付の申し出があった場合はどうなるのですか。

【事務局】

事業費が寄付上限となっていますので、その場合は他事業を案内するなどの対応を想定しています。

【委員】

ふるさと納税のように返礼品の対応はありますか。

【事務局】

企業版ふるさと納税では、返礼品は禁止されています。町の HP や広報紙等での寄付実績の発信は可能です。

【委員長】

他に質問はありますか。

無いようですので、次の議題に移りたいと思います。

## 議題4 グループワーク

### 【委員長】

今回は事務局主体で進めてもらいます。説明をお願いします。

### 【事務局】

昨年10月の会議では、広い範囲で提案を考えて頂きました。今回は、範囲を絞って、より深い分析をして取組の方針を考えていきたいと思えます。

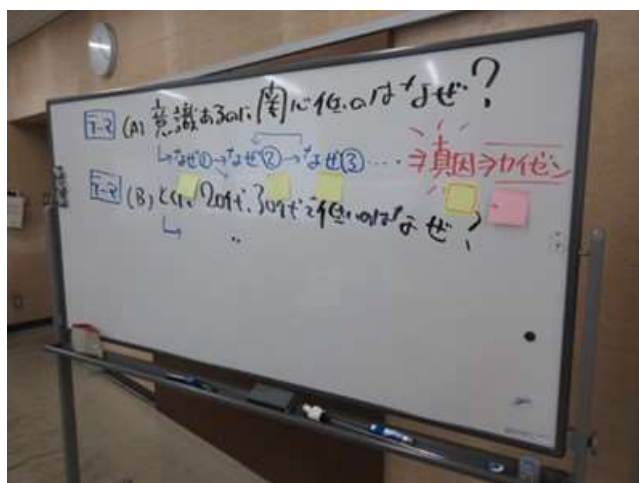
総合戦略のP22「町民のまちづくりの意識について」をメインテーマとします。

ここでは、これからのまちづくりには町民の参加や協働が必要だ、という人は8割いますが、町政・まちづくりに関心がある、という人は4～7割にとどまっており、特に20代と30代が4～5割未満と、他の世代に比べて低くなっている傾向が示されています。

グループを2つに分け、それぞれ「意識があるのに関心が低いのはなぜ?」「特に20代、30代で低いのはなぜ?」をテーマとして原因の深堀と改善方針を検討して頂きたいと思えます。

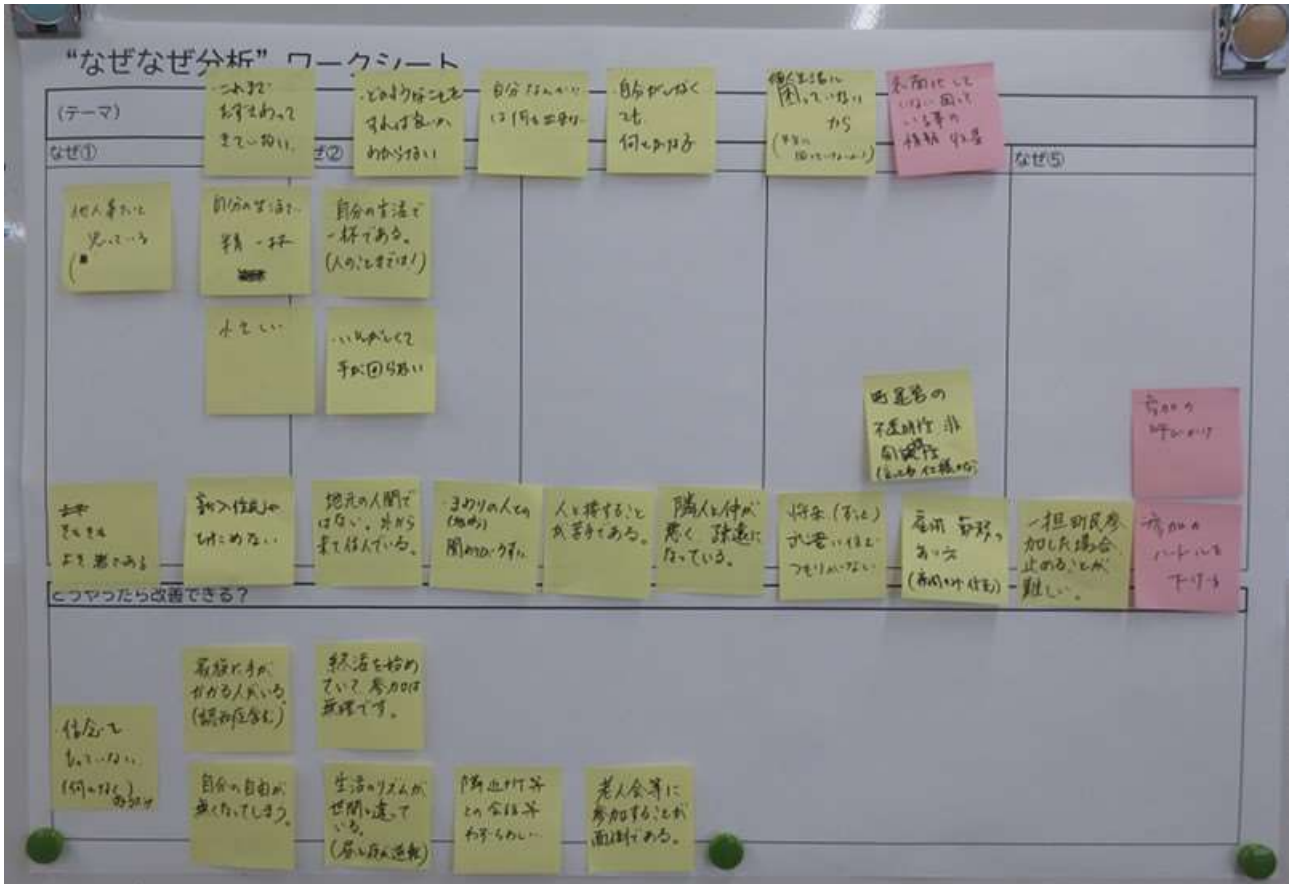
今回、深堀をしていくために「なぜなぜ分析」を活用します。トヨタ生産方式の中で、なぜを5回以上繰り返して改善につなげる仕組みとしても知られています。発生した問題に対し、なぜ?を繰り返して根本原因を深堀し、改善につなげるための手法の一つです。

~~~~~グループ分け・ワークの実施~~~~~



○各グループの発表

|       |             |                   |
|-------|-------------|-------------------|
| Aグループ | テーマ         | 意識があるのに関心が低いのはなぜ？ |
| 委員    | 江原、福田、棚橋、横井 |                   |



「他人事だと思っている」「そもそもよそ者である」の2点

「他人事だと思っている」  
 →忙しい、これまで携わっていない等  
 →自分が関わらなくても何とかなっている  
 →本当は問題や課題があるのに知らないだけではないか？本人が気づいていないだけではないか？

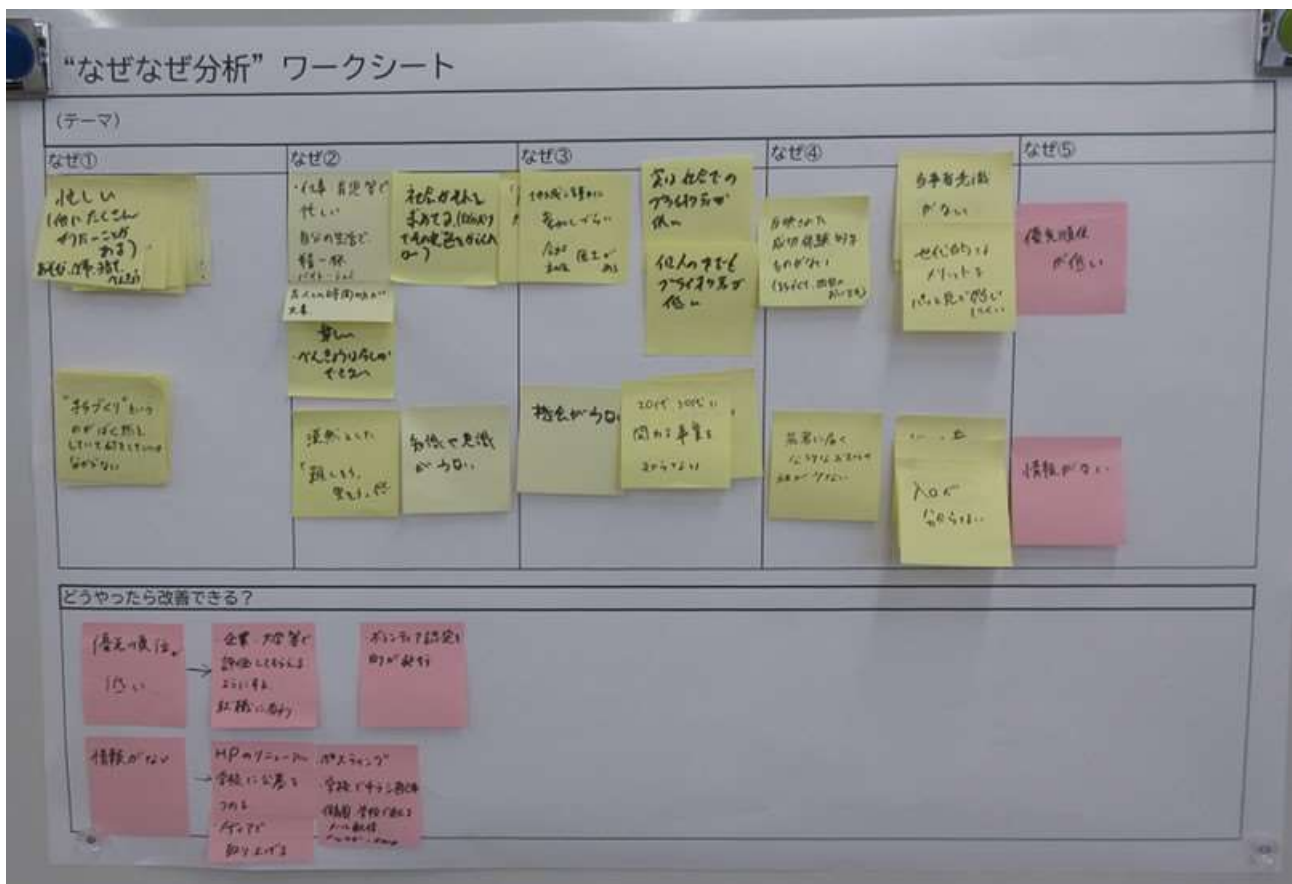
【改善策】  
 表面化していない困りごとの情報収集

「そもそもよそ者である」  
 →周辺との関係が希薄、疎遠である、受け入れない、参加しても抜けにくい（しがらみ）等

【改善策】  
 参加の呼びかけ、参加のハードルを下げる



|       |               |                   |
|-------|---------------|-------------------|
| Bグループ | テーマ           | 特に20代、30代で低いのはなぜ？ |
| 委員    | 原、鈴木、藤野、明壁、武内 |                   |



「忙しい」「何をしたいかわからない」の2点

「忙しい」

- 仕事、育児、学校で精一杯（社会が求めている）
- 社会でのプライオリティが低い、反映された成功体験が無い
- 優先度が低い

【改善策】

大学や企業等で評価される仕組みの構築  
ボランティア認定など

「何をしたいかわからない」

- 難しそう、知識等が少ない、参加機会が少ない
- 公的なお知らせ等が少ない、入り口がわからない
- 情報が無い

【改善策】

町HPのリニューアル（R4年度実施）  
学校等で公募／メディアで取り上げる  
ポスティング／学校等でのチラシ配布／メルマガ等

### 【事務局】

提案頂きましてありがとうございます。行政だけでは難しい部分でも、皆さんの考えを頂くことでより明確になったと感じています。

### 【委員長】

両グループの内容で似ている部分、異なる部分それぞれありました。特に「当事者化」については、両グループから出ていました。当事者化のためにはポイントがいくつかあります。

例えば「参加のハードルを下げる」。他市町の事例だと、自治会の関係があります。自治会の定例会を廃止し、代わりにLINEグループを作っていました。自分の空いた時間に思いついたアイデアを投稿したり、会議資料を作らないなど、参加のハードルを低く感じるようになっていました。女性の参加率が上がり、結果として自治会の加入者が増加した事例です。

優先度が低いこと、情報が無いことにも関連しますが、25歳以下の若者に政策提案してもらう「若者議会」を実施している市町があります。定員20人に対し50人以上の応募があるそうです。若者議会用の予算が用意されており、提案した事業を実行に移すことができるので、当事者化を図るための取組として良い事例と思います。

今回のワークで、ピンク色の付箋の内容をもっと掘り下げていくと、良い打ち手が見えてくると思います。

では、議題その他スケジュールについて、事務局お願いします。

### 議題その他 スケジュール

(資料4の説明)

8月頃にKPI進捗管理、10月頃にアイデア提案を予定しています。

委員の皆さんの任期が今年度末までとなっていますので、3月に改選となります。以上です。

### 【企画政策課長】

本日は議題に関するご意見や、まちづくりに関する貴重なご意見をありがとうございます。グループワークで話題になっていました当事者化については、行政としても何らかの検討をしていく必要があると感じています。

本日はありがとうございました。

以 上